

第1回 生長会 産婦人科レビュー・コース
Post-Test (110212 実施)

聴講者番号

氏 名

1. IUGR 発症の母体側 リスク因子として知られていないものはどれか。
 - a. やせ
 - b. 貧血
 - c. 喫煙
 - d. 高血圧
 - e. 妊娠中の体重増加不良

2. IUGR 児の娩出について エビデンスに欠くものはどれか。
 - a. 胎便吸引の頻度は高い。
 - b. 胎児健康状態の悪化を以って分娩とすべきである。
 - c. 胎児肺成熟が確認されれば分娩すべきである。
 - d. 児頭囲が $-1.5SD$ 以下で、発育停止があれば分娩すべきである。
 - e. 児の健康状態が良好でも分娩は選択的帝王切開ほうが神経予後が良い。

3. 産科ショックについて、誤っているものはどれか。
 - a. ショック指数とは、脈拍数/拡張期血圧で表す
 - b. ショック指数が1のとき、循環血液量の15~25%が失われたことが推測される
 - c. 子宮内反症は、神経性ショックと出血性ショックを引き起こす
 - d. 子宮破裂は癒着胎盤が多い
 - e. 常位胎盤早期剥離において、母体に凝固異常を認める頻度は胎児が生存している場合は10%程度である

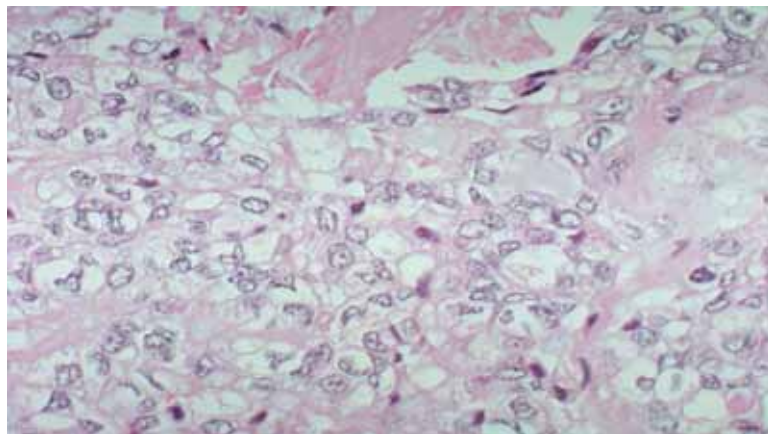
4. 前置胎盤・癒着胎盤について 正しいものはどれか。
 - a. 前置胎盤の診断は、胎盤形成が終わる16週ごろに行う
 - b. 前置胎盤のリスク因子は、子宮内容除去術の既往、帝王切開の既往、若年初産婦、喫煙などである
 - c. 癒着胎盤は、前置胎盤・既往帝王切開症例に多い
 - d. 癒着胎盤は超音波断層検査とMRIで妊娠22週頃までに確定診断となる
 - e. 前置胎盤・癒着胎盤は胎盤血流の増加により、巨大児になることがある

5. 正常妊娠における糖代謝の変化を 最も適切に表すものはどれか。
 - a. 空腹時血糖値正常、食後高血糖、インスリン分泌レスポンス遅滞
 - b. 持続的高血糖、食後加速的高血糖、低インスリン血症、
 - c. 持続的高血糖、高インスリン血症
 - d. 空腹時低血糖、食後高血糖、高インスリン血症
 - e. 空腹時低血糖、食後高血糖、インスリン分泌不全

6. 重症妊娠高血圧腎症の分娩についての記載で、エビデンスに基づいているのはどれか
- 診断がつき次第、選択的帝王切開を行うことで母児双方の予後が改善される。
 - 診断がつき次第、選択的帝王切開を行うことで母体の予後が改善される。
 - 診断がつき次第、選択的帝王切開を行うことで児の予後が改善される。
 - 早産未熟児の分娩においては選択的帝王切開で児の予後が改善される。
 - 妊娠週数にかかわらず、経膈分娩で分娩された児の予後は選択的帝王切開と変わらない。
7. 多胎の妊娠・分娩についての記述で正しいものには、不適切なものには×をつけよ。
- 多胎妊娠では、子宮頸管長、癌胎児性フィブロネクチン検査は早産予測に役立たない
 - 早産予防のための頸管縫縮術は、双胎においては有効ではないが品胎以上の妊娠では有効性が実証されている。
 - 多胎妊娠において陣痛抑制を行う場合、刺激剤、硫酸マグネシウムなどの投与により肺水腫を発症するリスクは単胎に比べて高くなる。
 - TTTS や IUGR など特別なリスクのない双胎の分娩において、先進児が頭位、後続児が骨盤位の場合、後続児の児頭が反屈していれば帝王切開が望ましい。
 - 妊娠中に DD 双胎の 1 児が死亡した場合、妊娠継続を治療方針とする。
 - 妊娠中 MD 双胎の 1 児が死亡した場合、緊急に生存児を娩出する。
 - 双胎の 1 児死亡後 4 週間以上経過すると 20% 以上に母体の血液凝固障害が発症する。
8. 双胎間輸血症候群の診断基準について正しいものには、不適切なものには×をつけよ。
- 一絨毛膜性双胎である。
 - 両児の体重差が大きい方の児の 25% 以上ある。
 - 一方の児に羊水過少を認める。
 - 一方の児に羊水過多を認める。
 - 羊水過少と羊水過多を同時に認める。
 - 一方の児に胎児水腫を認める。
 - 両児のヘモグロビン差が 5mg/dl 以上ある。
9. 母児感染について正しいものを選べ
- HTLV-1 抗体陽性のため人工哺乳を勧めた
 - HBs 抗原陽性、Hbe 抗原陰性であったが、HB ワクチン投与を行った
 - 性器ヘルペスの再発症例で発症 1 週間以上経過していたので経膈分娩を選択した
 - 風疹ウイルス IgM 抗体が低値ではあったが陽性であったため最近の風疹感染症と診断した
 - GBS 検査は膈鏡を用い、膈円蓋で膈分泌物を採取した
10. 産褥熱の起炎菌として最も検出頻度の高いものはどれか。
- 黄色ぶどう球菌
 - 大腸菌
 - 淋菌
 - 緑膿菌
 - ガス産生嫌気性連鎖球菌

11. 次の記述で、正しいものには、間違っているものには×をつけよ。
- エストロゲン単独療法は、エストロゲン+プロゲステン併用療法よりも乳癌のリスクが高い。
 - エストロール製剤は、尿道腔粘膜の炎症症状や骨粗鬆症の予防に効果がある。
 - E2 貼付剤は、肝臓での初回通過効果を回避できる利点がある。
 - 血栓塞栓症の既往をもつ患者にホルモン療法を行う際には十分注意して投与する。
 - 経口エストロゲン製剤服用後は、血中コレステロール値や中性脂肪値は低下する。
12. 次の記述で、正しいものには、間違っているものには×をつけよ。
- 既存骨折があっても骨密度の YAM が 81% の場合は閉経後骨粗鬆症に含まれない
 - 骨粗鬆症診断に用いる骨密度測定法は定量的超音波測定法 (QUS) が最適である
 - わが国における原発性骨粗鬆症の診断基準と薬物治療開始基準は同一である
 - 薬物治療を開始して骨密度値により効果判定をする場合は、測定誤差の 2 倍以上の増加を認めて効果ありとされる
 - DXA 法の被曝線量は胸部 X 線撮影のときに比べると約 20 分の 1 から 40 分の 1 である
13. 婦人科腫瘍で遺伝性の場合があるのは次のどれか。
- 子宮頸部腺癌
 - 子宮頸部扁平上皮癌
 - 外陰癌
 - 子宮体部癌
 - 卵巣癌
14. 生殖医療における染色体異常について誤っているものはどれか。
- 染色体の構造異常を有するカップルではそれが流産の原因となり得る。
 - 染色体異常妊娠は転帰は不妊か流産かいずれかである。
 - 染色体の構造異常が原因の習慣流産は着床前診断の対象となる。
 - 染色体の構造異常を有するカップルは生活習慣病とは関係ない。
 - 染色体の構造異常を有するカップルで配偶子が不均衡型となるのは 6 割くらいである
15. 生殖補助医療技術 (ART) について、正しいものには、間違っているものには×をつけよ。
- 体外受精胚移植術では胚を子宮内へ移植するので異所性妊娠は成立しない。
 - 単一排卵誘発が困難な排卵障害患者に対して体外受精胚移植術は実施できない。
 - 精巣組織採取 (TESE) 精子を用いた顕微授精治療は健康保険の適応である。
 - 単一胚移植法の普及により生殖補助医療技術 (ART) 妊娠の多胎率は低下した。
 - 生殖補助医療技術 (ART) 妊娠の流産率は約 20% で、自然妊娠より高率である
16. 不育症について正しいのはどれか？
- 妊娠 2 2 週未満の自然流産を 3 回以上繰り返す場合を習慣流産と呼ぶ
 - 自然流産の頻度は女性の年齢に比例して増加し、40 歳を越えると 40% 以上である。
 - 分娩歴のない 25 - 29 歳の習慣流産患者の次回自然流産率は 45% である。
 - 習慣流産患者への夫リンパ球を用いた免疫療法の有効性は実証されている。
 - 抗燐脂質抗体症候群による不育症には抗凝固療法を行う。

17. HPVワクチンについて、誤っているものを一つ選べ。
- 最も推奨されるのは10 - 14歳の女性である。
 - ワクチン効果は基本的にHPV16/18感染に限って認められる。
 - このワクチンは既に感染している型にたいする効果はない。
 - 子宮頸がん検診は必要なくなる
18. 子宮頸がんの手術療法として誤っているものを一つ選べ。
- Ib1,IIa1 に対して、広汎性子宮全摘術が推奨される。
 - 広汎性子宮頸部摘出術は妊孕性温存を希望する場合でも適応ではない
 - センチネルリンパ節同定は下肢浮腫を軽減する方法として注目されている。
19. 開腹時に、卵巣癌は片側卵巣に存在し、被膜破綻があり、骨盤内進展を認めた。さらに鼠径リンパ節転移が確認された。手術進行期はどれか。
- b期
 - c期
 - b期
 - c期
 - 期
20. 30才女性 平成18年1月に結婚。未産婦。不妊症を主訴に産婦人科受診。超音波で一部に充実部分を伴う卵巣腫瘍を指摘され開腹し直径10cmの右付属器を摘出した。腹水を少量採取(細胞診陰性)、左付属器および子宮には肉眼的に異常なし。摘出した卵巣のH&E標本を示す。なお、患者および御主人は挙児希望があるが、医師の意見を尊重すると言っている。



患者および家族に対して勧めるべき治療方針はどれか。

- 追加治療せずにこのまま嚴重に経過観察する。
- 化学療法を3コース行う。
- 化学療法を6コース行う。
- 挙児希望が強いため、リンパ節郭清および大網部分切除を追加し、進行期を決めたくうえで化学療法の必要性を検討する。
- 孕容性温存の適応はないため、子宮、左付属器を摘出、リンパ節郭清、大網部分切除術を施行後、化学療法を行う。